

【感染防止のための学内での行動指針（学生用）】

1. 登学前に体温を確認し、当日の体調とともに記録する。  
 発熱（目安として 37.5℃以上）や、空咳等の風邪症状、倦怠感、味覚・嗅覚障害等の症状がある場合には決して無理をせず登校や外出を見合わせる。
2. 体調が悪い場合（目安として 37.5℃以上の発熱、咳が出る等）は、自宅療養に努める。  
 症状の出ない方や症状の軽い方が無意識のうちにウイルスを拡散させることが懸念されています。知らないうちに他の方に感染させることをなくすため、人と接触する機会を極力減らす必要があります。
3. 学内に入構する際は手指の消毒を徹底してください。また、人の触れる場所の除菌に努めましょう。

4. 手洗いを徹底する。
  - ・石けんを使って、よく手洗いをしましょう。
  - ・むやみに顔を触らないようにしましょう。

5. 学内においては、通常マスクを着用してください。  
 特に、近距離での会話や発声等が必要な場面では、飛沫をとばさないよう、マスクの着用を徹底してください。



6. 室内の窓を開け換気の頻度を増やす。
  - ・教室内の換気スイッチを必ず ON にしてください。
  - ・換気は、気候上可能な限り常時、可能であれば 2 方向の窓を同時に開けて行いましょう。
  - ・窓が一つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。



7. 感染リスクが高まる密閉・密集・密接の場を「つくらない」「近づかない」
  - ・風通しが悪い場所で集まることを避けてください。【密閉空間を避ける】
  - ・着席時は周りの人と間隔を空けて座るようにしてください。【密集場所を避ける】
  - ・会話や発声のときには横並びになることを心がけ、できるだけ向かい合わないようしてください。【密接場面を避ける】

①換気の悪い  
密閉空間



②多数が集まる  
密集場所



③間近で会話や  
発声をする  
密接場面



・食事の際は、席の距離をおき、横並びになることを心がけてください。おしゃべりは控え、コップや食器、食べ物や飲み物を他の人とシェアしないようにしましょう。

8. 登下校の際に寄り道をしないようにしましょう。

9. 新型コロナウイルスに感染もしくは濃厚接触者となった場合は、速やかに報告してください。

感染者・濃厚接触者や、医療関係者への風評被害を防止するとともに、憶測やデマなどに惑わされないよう、冷静に対処してください。

10. 心の健康を保つ。

疑問や不安があったら、教員や友人に遠慮なく話しましょう。支援が必要な場合、学生部や学生相談センターに相談してください。